

尚徳寮

令和3年1月29日

鳥取大学附属中学校

No. 11

新年を迎えずで1ヶ月経とうとしています。13日に本校入試が終わり、平常の学校生活に戻っています。保護者の皆様、本年もよろしくお願いいたします。

さて、3年生はただいま入試のまっただ中です。進路懇談が終わり、1月、2月と私立高校入試や県立推薦入試が続き、3月9日(火)、10日(水)には県立高校の一般入試が行われます。将来の夢や自分の適性、そして各高校の教育内容や今の自分の学力等を総合的に判断し、最終的な進路決定をしてほしいと思います。この高校に入学すれば将来が約束されるというような学校はありません。3年後に、「自分が頑張れた、自分を伸ばすことができた」と実感できてはじめてよい進路選択をしたということになります。志を高く持って前に進んでほしいと願うばかりです。頑張れ、3年生!



「これを知るものはこれを好む者に如かず、これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」

新年明けましておめでとうございます。皆さんはどのようなお正月を過ごされましたか? 私は年末の雪かきに続いて、ステイホームの正月でした。

私事ですが、人生の節目となる還暦を迎えました。60年間、元気に過ごせたこと、多くの方々に出会い、人生を導いていただいたことに感謝しております。いよいよ初老の仲間入りですが、気分は相変わらず20代です。

人生の節目にあたり、振り返ってみました。私は地球科学の一分野である地形学の研究・教育に従事しています。中学校の科目では、理科の地学分野や社会科の地理分野に関連します。鳥取砂丘で砂がどの様に動くかといった秒単位の現象から、氷期―間氷期のリズムにあわせて大地の形がどのように変化するかといった数10万年の現象まで、時間と空間を往き来します。

このような自然との対話を楽しめるようになったのは35歳以降でした。それまで蓄積してきた知識・経験を駆使して、自然の姿をありのままに捉え、その理解を深めることができるようになってからです。

大学に入った頃は明確な目標もなく、まさにストレイ・シープ、何をしたらよいのか分からずに迷っている人でした。自転車の放浪旅で日本中を巡り、講義で地形学を知り、目を輝かせて議論する研究者の姿に出会いました。大学院時代、自分も自然と対話ができるようになりたいと願い・憧れ、ひたすらに研究に打ち込み、毎週のゼミに臨む日々でした。

論語に「これを知るものはこれを好む者に如かず、これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」とあります。ある道を志すにおいて、ただ知識として知っているだけの人は、それを好きな人には及ばない。それを好きな人であっても、それを楽しむ人には及ばないという名言です。我が師匠はまさに地形を楽しむ人であり、私もあのように地形が見えるようになりたいと明確な目標ができたわけです。しかし博士号をいただいた頃でも、師匠と一緒に野外を歩くと地形をみる力の差は歴然でした。

転機となったのは師匠のもとを離れ、鳥取に来てからです。学生と共に挑戦する鳥取の地形が、次第に我が師匠にかわっていきました。継続は力となり、やがて心底楽しめるようになりました。

皆さんはこれから10年～20年かけて自分が好きなもの・打ち込めるもの・心底楽しめるものを探し続け、将来地域社会に貢献できることを目指してください。人との出会い・本との出会いを大切にしながら。 冬休み明け全校集会 小玉校長先生の話より

2年生～修学旅行の取り組み始まる～



photo.jp - 48972055



すでに2年生の保護者の皆様にはお伝えしましたように、令和3年度の修学旅行の取り組みが始まりました。生徒が安心して研修できることを最優先にして、鳥取県を中心とした研修を計画中です。3つの目的（「仲間作り」「先輩に学ぶ」「郷土の魅力を発見する」）を達成するため事前の学習をしていきます。特に、「先輩に学ぶ」は、附属中学校として近年大切にしている取り組みです。附属中学校出身の方との出会いを通して、自らの将来を考えるきっかけとすることをねらいとしています。

研修先が鳥取県内であっても、目的を明確にして、事前の学習を積み上げれば、充実した学びが可能です。今後の取り組みに期待しています。

1年生～キャリア・メッセージ2020～アンケート結果をお知らせします。

昨年12月4日（金）に1年生を対象に実施した「キャリアメッセージ2020」の生徒向け事後アンケートの結果をお知らせします。

キャリア・メッセージのねらいの達成度を評価するため、下記の間1を設定しています。どの設問においても、肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）が、ほぼ100%に達しており、特に「そう思う」が多かったです。

1 「キャリア・メッセージ2020」で聞いたお話は、あなたにとってどんなところがよかったですか。

①自分の将来の進路や生き方について、これまで以上に考えることができましたか。

・「そう思う」84% ・「どちらかといえばそう思う」16%

・「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」0%

② 仕事・職業について、これまで以上に理解ができましたか。

・「そう思う」89% ・「どちらかといえばそう思う」11%

・「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」0%

③これからどのようなことにがんばっていけばよいか、きっかけや参考になりましたか。

・「そう思う」84% ・「どちらかといえばそう思う」15%

・「どちらかといえば、そう思わない」1% ・「そう思わない」0%



photo.jp - 11881122

取り組みの今後の継続について評価・検討するため、2の問いを設定しています。ほとんどの生徒が肯定的回答をしており、「必要だと思う」の回答が89%でした。幅広い職種の講師発掘や依頼等、保護者の方の協力を得ることは欠かせないと考えます。事前に生徒にアンケートをして、職種を決める参考にすることも考えられます。

2 今回の「キャリア・メッセージ」のように、社会人や職業人のお話を聞くことについて、どう思いますか。

・「必要だと思う」89% ・「どちらかといえば必要だと思う」10%

・「どちらかといえば必要とは思わない」1% ・「必要とは思わない」0%

本年度は12月に実施しました。この授業をきっかけとして、職業理解や進路に関する視野を広げ、今後のキャリア教育を積み上げてい上で効果的です。講師の選定、依頼に関わっていただいた懇話会執行委員の皆さんに改めて感謝申し上げます。